

JIS

爆発性雰囲気—第0部：電気機器—一般要件

JIS C 60079-0 : 2010

(IEC 60079-0 : 2007)

(JEMA)

平成 22 年 7 月 25 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 電気技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小 田 哲 治	東京大学
(委員)	池 田 久 利	IEC/SBI 委員 (東京大学)
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	長 田 明 彦	社団法人日本配線器具工業会
	香 川 利 春	東京工業大学
	亀 田 実	社団法人日本電線工業会
	近 藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	前 田 育 男	IDEC 株式会社
	佐々木 喜 七	財団法人日本電子部品信頼性センター
	住 谷 淳 吉	財団法人電気安全環境研究所
	島 田 敏 男	社団法人電気学会
	高 橋 健 彦	関東学院大学
	京 橋 昌次郎	社団法人電池工業会 (パナソニック株式会社エナジー社)
	豊 馬 誠	電気事業連合会
	鈴 木 篤	社団法人日本電球工業会 (日立ライティング株式会社)
	徳 田 正 満	東京都市大学
	中 村 禎 之	社団法人日本電機工業会
	飛 田 恵理子	東京都地域婦人団体連盟
	山 田 秀	筑波大学

主 務 大 臣：厚生労働大臣，経済産業大臣 制定：平成 16.12.20 改正：平成 22.7.25

官 報 公 示：平成 22.7.26

原 案 作 成 者：社団法人日本電機工業会

(〒102-0082 東京都千代田区一番町 17-4 電機工業会館 TEL 03-3556-5881)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：電気技術専門委員会 (委員長 小田 哲治)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	6
4 電気機器の分類	16
5 温度	17
6 すべての電気機器に対する要求事項	19
7 非金属製容器及び容器の非金属製部分	22
8 金属容器及び容器の金属部品	25
9 ねじ締付部（ファスナー）	26
10 インタロック装置	28
11 プッシング	28
12 固着用材料	28
13 Ex コンポーネント	29
14 接続端子部及び端子区画	29
15 接地導体用又はボンディング導体用接続端子部	30
16 容器への引込部	31
17 回転機に関する補足要件	32
18 開閉装置に関する補足的要件	33
19 ヒューズに関する補足要件	34
20 プラグ、コンセント及びコネクタに関する補足的要件	34
21 照明器具に関する補足要件	35
22 キャップライト及び携帯電灯に対する補足要件	36
23 内部に単電池及び電池をもつ電気機器	37
24 文書	38
25 プロトタイプ又はサンプルの文書との適合性	39
26 形式試験	39
27 ルーチン試験	52
28 製造業者の責任	52
29 表示	52
30 取扱説明書	62
附属書 A（規定）ケーブルグラウンドに対する補足要求事項	64
附属書 B（規定）Ex コンポーネントに対する要求事項の一覧表	70
附属書 C（参考）衝撃強度試験装置の一例	72
附属書 D（参考）Ex 電気機器の“機器の保護レベル（EPL）”を含む代替リスク評価方法の紹介	73